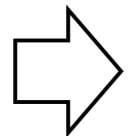


	星田北7丁目	星田北6・8・9丁目
①	星田小学校区	藤が尾小学校区
②	旭小学校区	藤が尾小学校区
③	星田小学校区	
④	旭小学校区	
⑤A	星田小学校区	旭小学校区
⑤B	旭小学校区	星田小学校区
⑥	藤が尾小学校区	



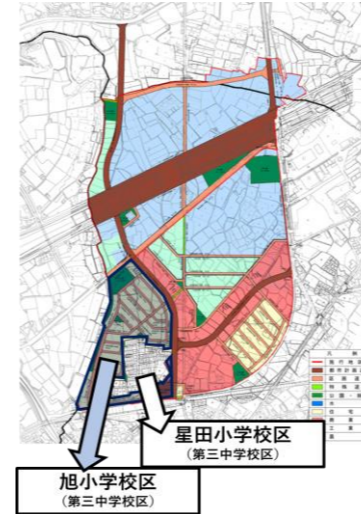
	星田北7丁目	
	新街区	旧街区
①	星田小学校区	
②★	旭小学校区	
②☆	旭小学校区	星田小学校区
⑥★	藤が尾小学校区	
⑥☆	藤が尾小学校区	星田小学校区

★：星田北7丁目の旧街区と新街区をひとまとまりに考える場合
 ☆：星田北7丁目の旧街区と新街区の学校区を分けて考える場合

■：第三中学校区
 ■：第四中学校区

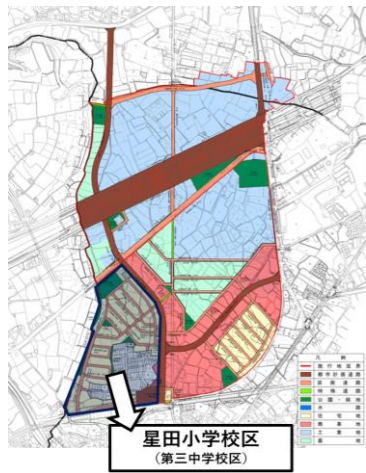
※第6回学校教育審議会の審議結果を踏まえ、星田北6・8・9丁目を藤が尾小学校区とする場合。

②☆ 星田北7丁目の学校区を、「新街区⇒旭小学校区」「旧街区⇒星田小学校区」とする場合



- メリット
 - 旭小学校は適正規模で推移する見込みとなる
- デメリット
 - 星田北7丁目から旭小学校への通学は、星田小学校区をまたいでの通学となる（学校規模適正化基本計画で教育環境上望ましくないデメリット）
 - 星田北6丁目と7丁目地域コミュニティが分かれる（さらに、同じ星田北7丁目内でも、地域コミュニティが分かれる）

① 星田北7丁目を星田小学校区とする場合



- メリット
 - 星田小学校が適正規模で推移する見込みとなる
- デメリット
 - 星田小学校は敷地面積が小さいため、教室数が不足した場合、増築等が難しい
 - 星田北6丁目と7丁目地域コミュニティが分かれる

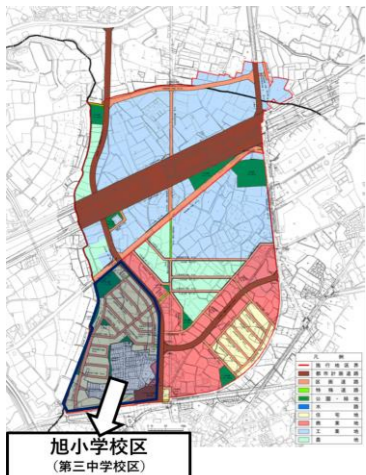
⑥★ 星田北7丁目を、藤が尾小学校区とする場合



- メリット
 - 星田駅北、星田北の地域コミュニティがひとつになる
- デメリット
 - 藤が尾小学校で、将来、一時的に適正規模を上回る可能性がある（第四中学校は、適正規模で推移する見込み）

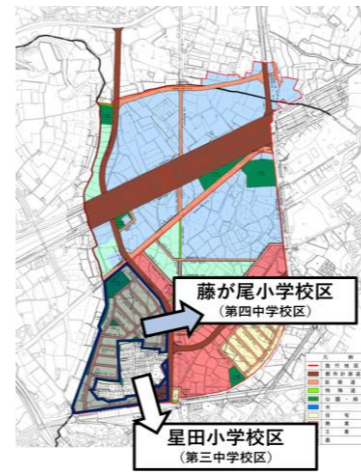
※ 星田北7丁目⇒藤が尾小学校
 通学距離 1.6km程度

②★ 星田北7丁目を、旭小学校区とする場合



- メリット
 - 旭小学校は適正規模で推移する見込みとなる（旭小学校は、敷地が広いので、教室数が不足した場合、増築等を行いやすい）
- デメリット
 - 星田北7丁目から旭小学校への通学は、星田小学校区をまたいでの通学となる（学校規模適正化基本計画で教育環境上望ましくないデメリット）
 - 星田北6丁目と7丁目地域コミュニティが分かれる

⑥☆ 星田北7丁目の学校区を、「新街区⇒藤が尾小学校区」「旧街区⇒星田小学校区」とする場合



- メリット
- デメリット
 - 藤が尾小学校で、将来、一時的に適正規模を上回る可能性がある（第四中学校は、適正規模で推移する見込み）
 - 星田北7丁目内でも、地域コミュニティが分かれる